

教員詳細情報

九州看護福祉大学

氏名	國木 孝治
連絡先メールアドレス	t-kuniki@kyushu-ns.ac.jp
役職・職名	教授
所属	鍼灸スポーツ学科
略歴	日本体育大学 体育学部 卒業 日本体育大学大学院 体育学研究科 博士課程前期 修了 呉大学 非常勤講師 広島国際学院大学 非常勤講師 福岡エコ・コミュニケーション専門学校 非常勤講師 広島国際大学 非常勤講師 広島大学大学院 教育学研究科 博士課程後期 広島大学大学院 教育学研究科 助教 至誠館大学 現代社会学部 講師 九州看護福祉大学 看護福祉学部 鍼灸スポーツ学科 教授（至現在）
取得学位	学士（体育学）、修士（体育学）、博士（教育学）
担当科目	保健体育科教育法Ⅰ・保健体育科教育法Ⅱ・保健体育科教育法Ⅲ・保健体育科教育法Ⅳ・教職実践演習（中・高保健体育）・教職実践演習（養護教諭）・教職実践演習（高校看護）・教育実習（事前事後指導を含む）・養護実習（事前事後指導を含む）・スポーツ社会学・体育原理・野外活動・球技・ボランティア論・水泳・水泳（アクアビクスを含む）・陸上競技・研究方法論・卒業研究論文
専門分野	スポーツ社会学・体育史・体育科教育学・ライフセービング・野外教育
所属学会	日本体育学会 日本スポーツ社会学会 体育史学会 日本体育科教育学会 日本運動・スポーツ科学学会 日本レジャー・レクリエーション学会 日本医史学会 スポーツ史学会 山口県体育学会
現在の研究テーマ	<ul style="list-style-type: none"> ・難分解性海浜堆積漂着ごみのフィールド調査 ・学校体育授業の意識に関する研究 ・スポーツボランティア観に関する研究 ・野外活動経験が幼児・児童のたくましい社会性に及ぼす効果 ・海水浴史
教育研究業績 (著書・学術論文等)	<p>【著書】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(共著)「現場からみた学校保健」(2013) 大学教育出版。 <p>【論文】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 國木孝治・大藤潤也(2023) シーカヤックを活用した海岸漂着ごみの調査と回収：地域・大学連携の取り組み、山口県体育学研究。 2. 國木孝治(2021) 山口県萩市における難分解性海浜漂着ごみの分類、至誠館大学研究紀要 8、135-141. 3. 國木孝治(2020) 小・中・高校生の「運動・スポーツ」と体育授業の意識に関する研究(2)：好嫌の理由と運動・スポーツ時間、至誠館大学研究紀要 7、65-76. 4. 岡崎祐介・國木孝治(2020) 陸上競技選手の競技価値観に関する一考察：山口県最初のオリンピック選手・阿武巖夫(1909-1939)に着目して、至誠館大学研究紀要 7、41-48. 5. 國木孝治(2020) 大学生のボランティア経験とボランティア観、至誠館大学研究紀要 7、109-116. 6. 國木孝治・俵尚平(2019) 小・中・高校生の「運動・スポーツ」と体育授業の意識に関する研究(1)：「運動・スポーツ」と「体育」の好嫌との関連性について、至誠館大学研究紀要6、1-13.

7. 國木孝治・岡崎祐介・井川貴裕・西博文 (2019) 至誠館大学における自然体験活動の実践力を目指した授業の取り組み：新カリキュラムにおける『野外活動 (アクアスポーツ)』実践、至誠館大学研究紀要 6、77-84.
8. 國木孝治 (2018) 長期ジュニア・ライフセービング・プログラム経験が幼児・児童のたくましい社会性に及ぼす効果、至誠館大学研究紀要 5、15-26.
9. 岡崎祐介・丸山敬史・國木孝治・西山健太・東川安雄 (2014) 持久走における音楽聴取が女子高生の意識に及ぼす影響、陸上競技研究 99、48-54.
10. 上田毅・房野真也・國木孝治・上田真寿美・出口達也・沖原謙・草間益良夫・東川安雄 (2013) 大学生の登山プログラムにおける運動強度、健康とスポーツの科学 19(1)、185-190.
11. 出口達也・上田毅・東川安雄・齊藤一彦・沖原謙・國木孝治・丸山敬史・塩川満久・伊藤数馬・大塚道太 (2013) 柔道における「背負投」の指導方法に関する一考察—熟練者と未熟者の動作比較から—、健康とスポーツの科学 19(1)、155-160.
12. 上田毅・國木孝治・房野真也・上田真寿美・出口達也・石井良昌・沖原謙・草間益良夫・東川安雄 (2012) 気候の変化による組織キャンプの身体活動量に関する研究：大学生の性差の違い—運動とスポーツの科学18(1)、85-90.
13. 音野太志・真栄城勉・豊田勝義・國木孝治・池田貞夫 (2012) “Team SOS「心の触れ合いサポート」” 実践報告：東日本大震災後の福島県相馬市への支援活動、琉球大学生涯学習教育センター研究紀要：生涯学習フォーラム 6、1-10.
14. 丸山敬史・國木孝治・房野真也・沖原謙・東川安雄 (2011) U-12年代サッカー選手におけるゴールキーパートレーニング指導実態に関する研究：広島地区の少年サッカークラブに着目して、運動とスポーツの科学 17(1)、63-68.
15. 國木孝治・豊田勝義・音野太志 (2011) 東日本大震災後における被災地 (福島県相馬市) 支援活動：Team S.O.Sによる『心のふれあいサポート』実践、レジャー・レクリエーション研究 68、48-51.
16. 國木孝治・東川安雄 (2011) 我が国における海水浴の受容・発展に関する事例研究：大野海水浴場 (潮湯治場)、レジャー・レクリエーション研究 67、31-45.
17. 國木孝治 (2011) 明治期の厳島 (広島県) における海水浴に関する一考察、広島体育学研究 37、18-25.
18. 國木孝治 (2011) 江戸時代後期における海水浴概念の伝播に関する研究：西洋医学書および医学教育の内容にみられる「海水浴」に着目して、スポーツ史研究 25、57-64.
19. 國木孝治・東川安雄・石井丈也 (2010) 我が国における潮湯治から海水浴に至る歴史的変遷：大野海水浴場を例として、レジャー・レクリエーション研究 65、70-73.
20. 國木孝治 (1999) 競技スポーツとしてのライフセービング、臨床スポーツ医学 16(8)、913-919.
21. 國木孝治・森川貞夫 (1994) 海水浴場における安全管理体制に関する一考察：東京都における実態調査から、東京体育学研究 1994、69-75.
22. 村本和代・森川貞夫・依田充代・遠藤大哉・國木孝治・辻敦 (1993) 福岡市主婦卓球愛好会・神戸市垂水区スポーツ協会・狛江市スポーツクラブとコミュニティに関する調査報告(1)：クラブメンバーの領域性と特性、東京体育学研究 1993、105-110.
23. 國木孝治・森川貞夫・村本和代・依田充代・遠藤大哉・辻敦 (1993) 福岡市主婦卓球愛好会・神戸市垂水区スポーツ協会・狛江市スポーツクラブとコミュニティに関する調査報告(2)：スポーツクラブの参加の実態・満足度及び意識、東京体育学研究 1993、111-118.
24. 辻敦・依田充代・村本和代・國木孝治・遠藤大哉・森川貞夫 (1993) 福

岡市主婦卓球愛好会・神戸市垂水区スポーツ協会・狛江市スポーツクラブとコミュニティに関する調査報告(3)：スポーツクラブと地域との関わり、東京体育学研究 1993、119-124.

25. 遠藤大哉・森川貞夫・村本和代・依田充代・國木孝治・辻敦 (1993) 福岡市主婦卓球愛好会・神戸市垂水区スポーツ協会・狛江市スポーツクラブとコミュニティに関する調査報告(4)：コミュニティ形成における相互関係、東京体育学研究 1993、125-129.

26. 依田充代・森川貞夫・村本和代・遠藤大哉・國木孝治・辻敦 (1993) 福岡市主婦卓球愛好会・神戸市垂水区スポーツ協会・狛江市スポーツクラブとコミュニティに関する調査報告(5)：地域での主体形成と住民のコミュニティ形成の貢献度、東京体育学研究 1993、131-135.

【学会発表】

1. 新宅智也・國木孝治・房野真也・上田真寿美・石井良昌・上田毅・東川安雄 (2012) 組織キャンプの運動量に関する研究、第 23 回広島スポーツ医学研究会.

2. 國木孝治 (2011) 明治期の海水浴論：1883 (明治 16) 年の栗本東明「日本海水浴説」、スポーツ史学会第 25 回大会.

3. 丸山敬史・國木孝治・黒川隆志・東川安雄 (2011) U-12 年代サッカー選手におけるゴールキーパーに対する好嫌態度を決定する要因分析、日本体育学会第 62 回大会.

4. 國木孝治・東川安雄・石井丈也 (2010) 我が国における潮湯治から海水浴に至る歴史の変遷：大野海水浴場 (潮湯治場) を例として、日本レジャー・レクリエーション学会第 40 回大会.

5. 國木孝治 (2010) 我が国における海水浴概念成立に関する一考察：西欧から伝播された医学的認識に着目して、スポーツ史学会第 24 回大会.

6. 國木孝治 (2010) 広島県における海水浴の受容と海水浴場成立に関する研究：厳島海水浴・海水浴場の歴史に着目して、広島体育学会平成 22 年度発表例会.

7. Hisayo Sakumoto, Takaharu Kuniki, Chizu Sakumoto (1995) A STUDY ON THE HEALTH OF TAIWANESE MINORITY RACES IN SOUTHERN TAIWAN: Females from an Ocean district tribe and mountainous district tribes, ユニバーシアード福岡大会：大学スポーツ研究会議.

8. Hisayo Sakumoto, Takaharu Kuniki, Chizu Sakumoto (1995) Health of Women in Taiwan Minority Races: The Amount of Body Fat During Secondary Sex Characteristics of the Rukai and Paiwan Races, 15th World Conference of the International Union for Health Promotion and Education (IUHPE).

9. 國木孝治・森川貞夫 (1994) 海水浴場における安全管理体制に関する一考察、日本体育学会東京支部第 21 回大会.

10. 國木孝治・森川貞夫・村本和代・依田充代・遠藤大哉・辻敦 (1993) 福岡市主婦卓球愛好会・神戸市垂水区スポーツ協会・狛江市スポーツクラブとコミュニティに関する調査報告、日本体育学会東京支部第 20 回大会.

【報告書】

1. 松本貴之・増島大介・國木孝治・今井俊介・大山玲奈 (2019) 「ジュニアライフセービング教育の実態調査報告書」、公益財団法人日本ライフセービング協会.

2. 森川貞夫・村本和世・國木孝治・辻敦・遠藤大哉・依田充代 (1993) 「福岡市主婦卓球愛好会・神戸市垂水区スポーツ協会・狛江市スポーツクラブとコミュニティに関する調査報告書」、日本体育大学体育社会学研究室.

【関連業績】

1. 萩市 (2021) 令和 3 年度萩市大学連携地域づくり推進事業 (地域課題解決型) 補助金：山口県萩市海岸線における難分解性海浜漂着ごみ調査.

	2. 独立行政法人国立青少年教育振興機構(2018～2021) 子どもゆめ基金(自然体験活動) 助成金：萩の海・わんぱく教室「萩ッズセーバー」
社会活動・社会貢献	<ul style="list-style-type: none">・ 山口県ライフセービング協会(2021～至現在) 副理事長・ 日本ライフセービング協会(2019～至現在) 地域教育推進委員会委員・ 萩サーフライフセービングクラブ(2014～至現在) 理事長・ 萩市(2019～至現在) 萩市魅力 PR 大使・ 日本スポーツボランティアネットワーク(2019) TOKYO2020 オリンピック・パラリンピック：Field Cast 共通研修講師